

# 特集 平成30年度 飛騨市の予算 一般会計 178億9,000万円

市議会3月定例会において、平成30年度当初予算が可決されました。一般会計及び特別会計、企業会計の総額は291億2,127万円で、前年度当初予算と比較して2億8,331万円増(+1.0%)の積極型予算となっています。

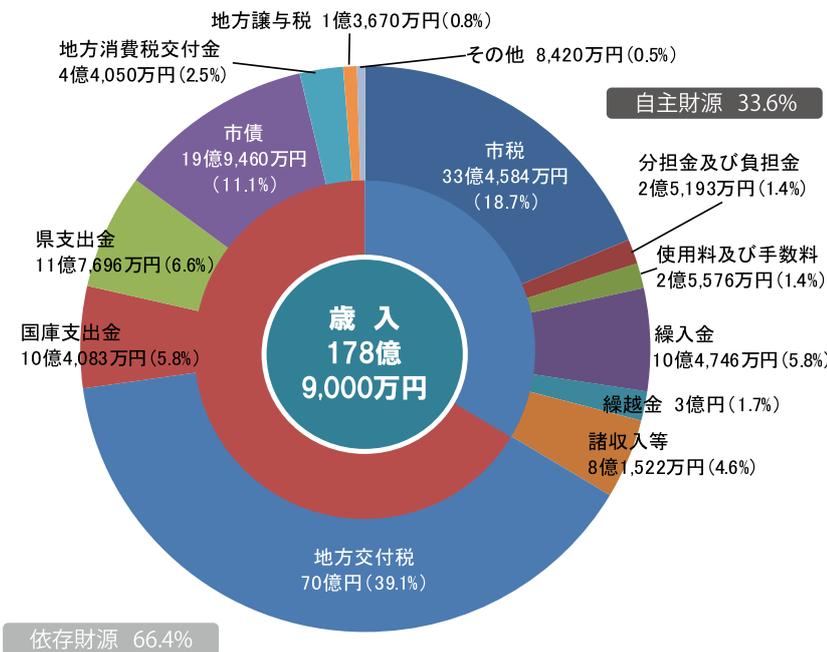
## ●当初予算の規模

会計区分	予算額	対前年比
一般会計	178億9,000万円	+3.8%
特別会計	83億6,280万円	△5.3%
企業会計	28億6,847万円	+3.7%
総 額	291億2,127万円	+1.0%

※増減率は、平成29年度当初予算との比較です

**■予算の特徴**  
平成30年度は、これまで進めてきた「元気で、あんなに誇りの持てるふるさと飛騨市づくり」の政策を更に前進させることに加え、市民の皆様からのご意見を踏まえ、これまで未着手であった分野にも新たな対策を行うこととして、①弱い立場の方や暮らしに困難を抱える方への支援、②自主的な健康づくりの推進、③市民の安全安心の基本である防犯力・防災力の強化と体制整備、④医療や産業等の人材確保と育成、⑤文学や芸術など地域の自慢の発掘と磨き上げ、の5つを最重要項目に位置づけて、市民の皆様が誇りをもって安心して暮らせるまちづくりを目指した施策を展開していきます。

## ●一般会計歳入



**■一般会計歳入の状況**  
市税は市内企業の業績が依然厳しい状況下にあることに加え、3年に1度の固定資産税評価替えが重なり、全体として前年度より3千1百32万円減少する見込みです。

また、地方交付税は、合併算定期間の最終年度を迎えることとなりますが、合併特例の終了を見据えた財政運営を前提として前年度水準と同額を計上しました。

国庫・県支出金は補助事業を積極的に活用し、前年度より1億6千7百9万円増加しています。

市債は交付税措置のある有利な起債を活用することを基本として、昨年度から継続する特別養護老人ホーム和光園の建て替えや、ひだ宇宙科学館方ミオカラボなど未来の観光振興に繋がるような施設整備に重点配分するとともに、これまでのハード事業に加え、住宅性能向上リフォーム補助金等のソフト事業にも活用し、市債全体では前年度より2億9千7百90万円の増額となっています。

線入金はふるさと納税を原資とするふるさと創生事業基金からの線入金や、老朽化した市有施設に係る修繕に充てるために新たに設置する公共施設管理基金からの線入金などで、前年度より3千6百94万円の増額となっています。

また、地方交付税は、合併算定期間の最終年度を迎えることとなりますが、合併特例の終了を見据えた財政運営を前提として前年度水準と同額を計上しました。

国庫・県支出金は補助事業を積極的に活用し、前年度より1億6千7百9万円増加しています。

市債は交付税措置のある有利な起債を活用することを基本として、昨年度から継続する特別養護老人ホーム和光園の建て替えや、ひだ宇宙科学館方ミオカラボなど未来の観光振興に繋がるような施設整備に重点配分するとともに、これまでのハード事業に加え、住宅性能向上リフォーム補助金等のソフト事業にも活用し、市債全体では前年度より2億9千7百90万円の増額となっています。

線入金はふるさと納税を原資とするふるさと創生事業基金からの線入金や、老朽化した市有施設に係る修繕に充てるために新たに設置する公共施設管理基金からの線入金などで、前年度より3千6百94万円の増額となっています。

## ●特別会計・企業会計予算の内訳

会計区分・会計名	予算額
特別会計	83億6,280万円
国民健康保険	28億6,020万円
後期高齢者医療	3億9,070万円
介護保険	33億1,630万円
公共下水道事業	9億6,900万円
特定環境保全公共下水道事業	1億8,100万円
農村下水道事業	3億2,200万円
個別排水処理施設事業	1,550万円
下水道汚泥処理事業	1億6,800万円
駐車場事業	890万円
情報施設	9,440万円
給食費	3,680万円
公営企業会計	28億6,847万円
水道事業	8億2,930万円
国民健康保険病院事業	20億3,917万円

▽**一般会計歳出の状況**  
**総務費(前年比+0.4億円)**  
 市民の皆様の安全・安心な暮らしを支えるため、災害用備蓄品等の購入や避難施設のWiFi環境整備、防災士養成のための研修講座の開催や資格取得に対する支援を行うほか、市内公共駐車場における防犯カメラの設置、区・自治会等に対する支援を行い、地域防犯力を向上させます。

また、ひだ宇宙科学館力ミオカラボ、スキー場を活用した流葉ドローンパークを整備するほか、清流みやがわ鮎や河合地歌舞伎などの自然・伝統資源など、地域の誇りに繋げます。市民の皆様の誇りに繋げます。

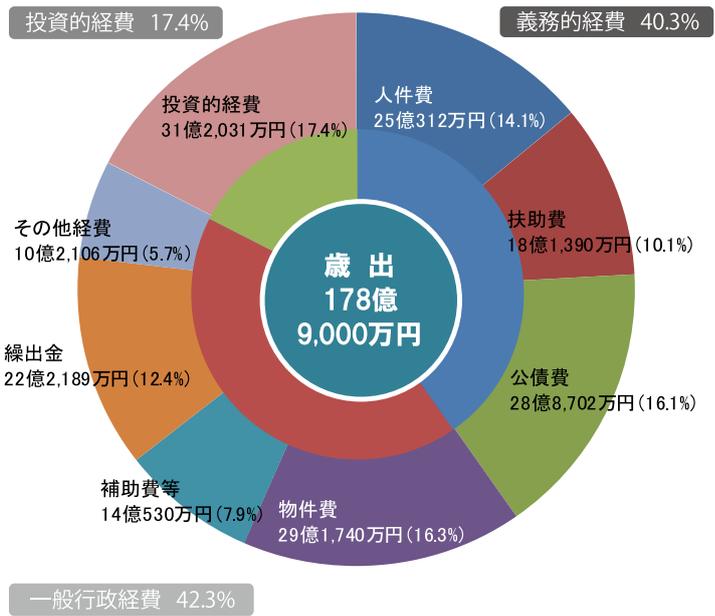
▽**民生費(前年比+5.2億円)**  
 全ての人がいつまでも安心して暮らせるまちをつくるため、夜間の子どもの居場所づくりやひとり親家庭の保護者に対する介護資格取得の支援を行うほか、高齢者への宅配型買い物支援制度を創設します。

また、こうした弱い立場の方々への支援を行う市民の皆様や団体の活動を後押しし、官民連携した支援活動の充実と、福祉意識の浸透に取り組みます。

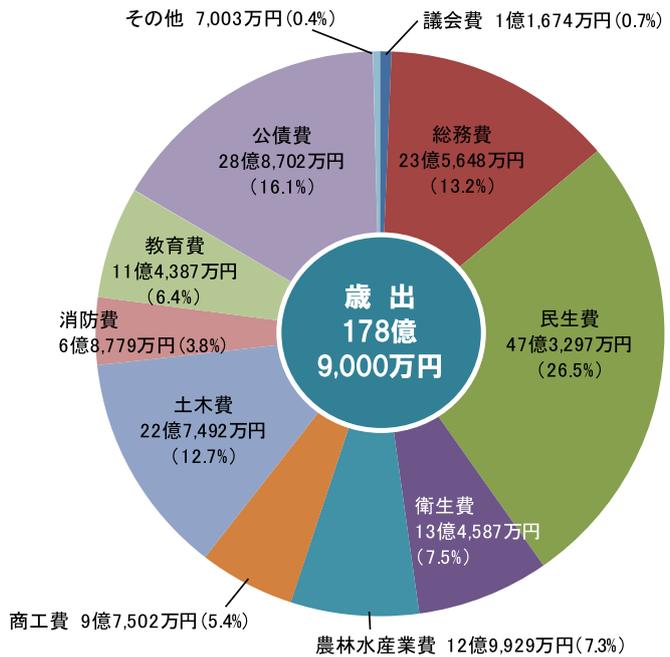
▽**衛生費(前年比+0.5億円)**  
 市民の皆様に自立的な健康づくりに取り組みいただくため、まめとく健康ポイント制度の拡充や、生活習慣の改善を促すための若年世代からの減塩指導に取り組みます。

また、飛騨市クリーンセン

● 一般会計歳出 (性質別)



● 一般会計歳出 (目的別)



▽**農林水産業費(前年比+1.3億円)**  
 農業従事者の確保対策として、新たに中高年の帰農者を支援する制度を創設するほか、飛騨市産米、奥飛騨山ノ村寒干し大根など、振興作物の定着を推進し、意欲ある農業者へのきめ細やかな支援を行います。

畜産業では、飛騨地域の重要な産品である飛騨牛の生産体制を強化するため、「(仮称)飛騨牛研修・繁殖センター」を産官の連携により整備します。

林業では、北海道中川町と姉妹協定を締結し、森林活用における情報共有や事業の協働実施を行うなど、積極的に森林資源の活用を行います。

▽**商工費(前年比+0.2億円)**  
 特産品の販路拡大のため、ものづくり事業者の意識向上や、商品のプラットフォームを支援するほか、外国人技能実習生雇用支援の拡充や、空き店舗を活用した起業支援、企業自らの情報発信力向上支援など、企業の人材確保対策を進めます。

観光分野では、ひだ宇宙科学館力ミオカラボのオープンに向けた第2駐車場整備や飛騨まつり会館の展示装飾リニューアルに係る実施計画を策定するほか、観光客誘導看板の新設や多言語化、池ヶ原湿原遊歩道のバリアフリー整備など、訪れる全ての方に優しい観光地づくりを進めます。

▽**土木費(前年比+1.2億円)**  
 移住定住促進の一環として、

▽**消防費(前年比+0.1億円)**  
 市民の皆様の安全な暮らしを守るため、消防団ポンプ車1台及び可搬ポンプ積載車3台を更新し、地域消防力を強化するとともに、救急救命士の養成と救急車両に自動式心臓マッサージシステムを導入し、高度な救急サービスを提供します。

▽**教育費(前年比+0.5億円)**  
 家庭環境や社会の急激な変化にも対応できる子どもを育成するため、保育園・小学校・中学校の12年間を通じて一貫性のある教育指導を行うとともに、小学校英語教育を推進し、英語によるコミュニケーションを図ることのできる児童の育成を目指します。

また、文化振興の面では、飛騨市にゆかりのある文学や芸術分野の発掘に着手し、市民の皆様の新たな誇りに繋げるとともに、各地域にある特色ある資源の磨き上げを行います。

次のページからは、平成30年度の主要事業を紹介いたします。また、予算の概要・各主要事業の詳しい内容は市のホームページでもご覧になれます。

## ●市民福祉部

**食事付き夜間の子どもの居場所づくり**……………286万円  
夜間をひとりで過ごす子どもたちを地域で支援するため、食事や学習、団らんなどを通して安心して過ごすことができる「子どもの居場所づくり」を実施します。

**日常生活用品の買い物おたすけ便**……………90万円  
日常生活用品を市内全域に配達するサービスを買い物弱者が利用される場合に、市が配達料の一部を助成する「宅配型」の買い物支援事業を創設します。

**富山大学と連携した「飛騨市健康まちづくりマイスター」の養成**……………190万円  
地域の健康づくりに資する市民活動を創出する中核的人材「飛騨市健康まちづくりマイスター」養成講座を飛騨市で開催し、市民レベルのリーダー育成を推進します。

**次世代の生活習慣病予防の推進**……………661万円  
生活習慣の基礎ができる乳幼児期と、一人暮らしが始まる前の青年期前半を重点世代として、高血圧を予防するための減塩指導を推進します。

**在宅医療推進のための地域看護体制の充実**……………44万円  
飛騨市内の看護師が交流し連携を強化する機会を創出するとともに、潜在的有資格者を発掘します。

**外国人介護人材の受入支援**……………43万円  
外国人介護人材の受け入れに係る現地面接の渡航費用や日本語研修などの事業所負担を軽減します。



## ●農林部

**(仮称) 飛騨牛研修・繁殖センター開設の支援**……………1,140万円  
県・市・農業協同組合の連携で、研修・繁殖センターを市内に整備し、新規就農者の育成と繁殖雌牛増頭による地域内生産体制の強化を図ります。

**森林活用推進自治体との「姉妹森」連携**……………178万円  
北海道中川町と、森林活用に関するノウハウ共有や事業の共同実施に関する姉妹森協定を締結し、関係者の相互交流や首都圏での共同フェアを開催します。

**中高年新規就農者の支援**……………200万円  
新規で農業を始める中高年の帰農者に、農機具や施設等の導入費用の一部助成と、就農時の生活安定のための給付金を交付します。

平成30年度の

**主要事業**

主な事業の概要と  
予算額を紹介します



## ●総務部

**防犯カメラの設置及び購入の助成**……………478万円  
不審車両等を監視するため、市内主要箇所に防犯カメラを設置します。また、区・自治会等が防犯カメラを設置する際に助成を行います。

**防災士の育成拡大の推進**……………284万円  
飛騨市において防災士取得のための研修講座を独自開催するとともに、飛騨市防災士会(仮称)を立ち上げ、組織的活動の基盤を作ります。

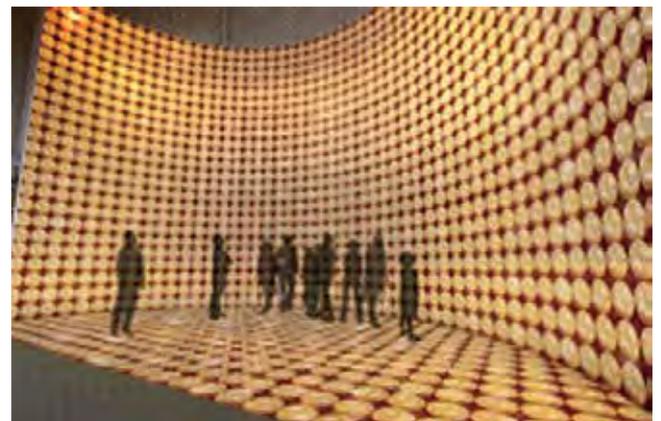
## ●企画部

**「ひだ宇宙科学館 カミオカラボ」の整備**……………2億5,726万円  
施設の整備を継続して行うとともに、PRを効果的に行えるよう、ウェブサイトを作成し情報発信を行うなど、平成31年4月のオープンに向けた準備を行います。

**飛騨流葉ドローンの推進プロジェクト**……………150万円  
流葉スキー場を、ドローンを自由に飛ばせる「飛騨流葉ドローンパーク」として整備し、併せて体験会等を開催します。

**「清流みやがわ鮎」の知名度向上**……………496万円  
清流みやがわで育った鮎の知名度向上のため、釣り客が快適に滞在できる環境の整備や、富山での販路拡大のためのイベントを開催します。

**河合地歌舞伎の伝承支援**……………91万円  
より良い環境で伝承活動が継続できるように、地歌舞伎用舞台等の整備(舞台、花道、照明)について助成をおこないます。



## ● 消防本部

地域消防力の強化……………4,521万円  
実践的な消防訓練を新たに実施し、あわせて消防設備・車両の充実を図ることで地域消防力を強化します。また、子どもの頃から命の大切さを学ぶ事業も行います。

救急活動体制の強化……………1,517万円  
気管挿管、薬剤投与、処置拡大を行える認定救急救命士の養成に加え、新たに自動式心臓マッサージシステムを各署に装備します。



## ● 環境水道部

路上喫煙禁止地区の指定……………31万円  
古川町壱之町、瀬戸川通りを中心としたエリアにおいて、たばこのポイ捨てや火災、やけどや煙による迷惑防止を目的とした路上喫煙規制を実施します。

石綿管交換による水の安定供給……………3,891万円  
市内に一部残っている石綿管について、管の破損事故により市民生活に与える影響が大きい幹線導水管を優先し、順次水道管の更新を行います。

上水道施設整備計画・飛騨市水道ビジョンの策定……………1,000万円  
持続可能な上水道事業の実現を目的に、具体的に実践的な更新計画を策定し、今後の効率的な施設更新を図ります。

総合的な下水道地震対策の推進……………2,044万円  
古川浄化センターや下水道管路の耐震補強計画や、避難所指定されている市有施設等での被災時のマンホールトイレシステムの計画を策定します。

## ● 飛騨市民病院

患者と家族を支える「里山ナース」の育成……………100万円  
病院の枠を超えた連携により地域包括ケアを推進する「里山ナース」を市民病院看護師の中から認定し、看護師の意識向上と人材の確保・育成を図ります。

## ● 基盤整備部

住宅性能向上を目的としたリフォーム補助金の創設……………8,250万円  
市内に居住している個人の住宅において、省エネや安全性など住宅性能が向上するリフォームを支援し、あんきで暮らしやすい住まいづくりを推進します。

ひとり親家庭への住宅支援……………120万円  
住宅に困窮しているひとり親家庭へ、優先的に市営住宅や助成支援付き民間住宅を斡旋し、安心して子育てができる環境を整えます。

## ● 商工観光部

外国人技能実習生の雇用支援……………329万円  
アパート等を社宅として借上げ、住居確保する事業者への家賃補助や、現地面接にかかる渡航費用の一部を新たに助成対象とし、人材確保につなげます。

ものづくり事業者の育成……………200万円  
バイヤー等を講師とした勉強会によるものづくり事業者の意識改革を図るとともに、首都圏でのマーケティング販売を実施し、商品のブラッシュアップを図ります。

飛騨古川まつり会館リニューアル実施計画の策定……………600万円  
古川まつりの魅力をわかりやすく説明できるよう、照明やパネル、展示など館全体のリニューアルや、説明の多言語化、バリアフリー化などの計画を策定します。



## ● 教育委員会

荒垣秀雄氏の功績顕彰……………132万円  
朝日新聞の「天声人語」を担当し、飛騨市名誉市民、東京都名誉都民である氏の功績をたたえた石碑の建立と、除幕イベント等の支援をおこないます。

「飛騨の糸引き工女」の史実調査・研究……………496万円  
信州の製糸産業に貢献した「飛騨の糸引き工女」にスポットを当て、岡谷市等との連携手法の構築や史実に基づく調査・研究を実施します。

保小中連携教育の推進……………30万円  
保小中の12年間を見通した、系統性・連続性を踏まえた一貫性のある指導を具現し、個に徹した指導の充実や不登校児童生徒の未然防止を図ります。